

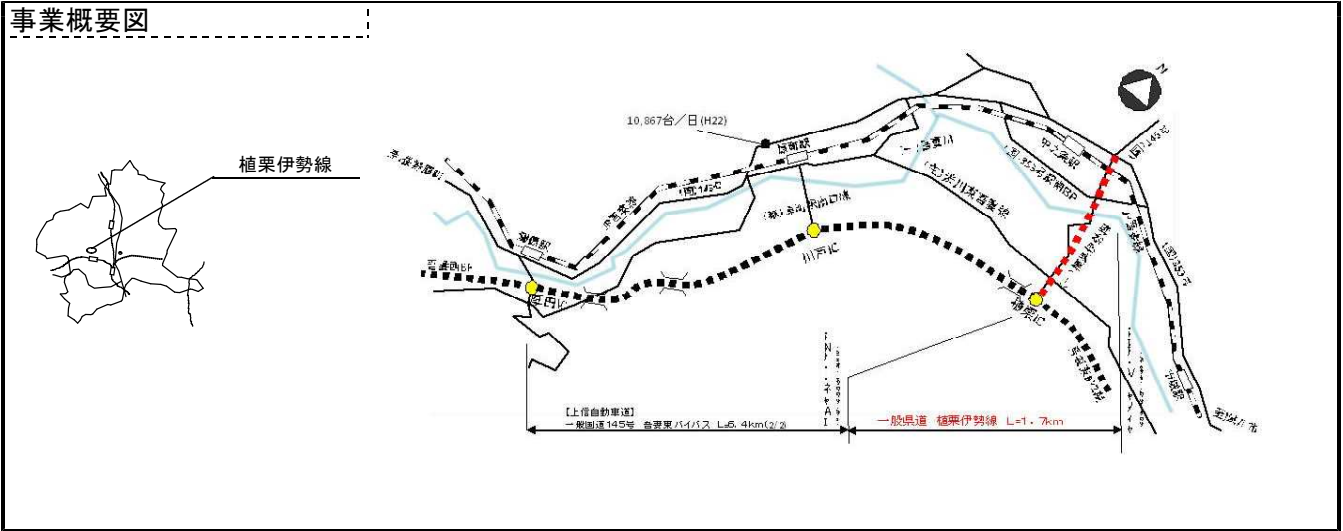
## 再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局環境安全課

担当課長名：森山誠二

事業名	一般県道 <small>うえぐりいせせん</small> 植栗伊勢線	事業	事業	
		区分	地方道	主体
				群馬県
起終点	自：群馬県吾妻郡東吾妻町植栗 <small>あがつまぐんひがしあがつままちうえぐり</small> 至：群馬県吾妻郡中之条町伊勢町 <small>あがつまぐんなかのじょうまちいせまち</small>		延長	1.7 km
事業概要	（一）植栗伊勢線は地域高規格道路である。上信自動車道の（仮称）植栗インターチェンジから、主要地方道渋川東吾妻線（東吾妻町植栗地内）、吾妻川、国道353号、及びJR吾妻線を横断し、国道145号に至る延長約1.7 kmの2車線道路である。上信自動車道の整備に際して、中之条町、四万温泉、高山村方面への重要なアクセス道路となる。			
H25年度事業化	H6年度都市計画決定	H29年度用地着手	工事未着手	
全体事業費	29億円	事業進捗率	約16%	供用済延長
				— km
計画交通量	7,000台/日			
費用対効果分析結果	B/C： （事業全体）2.1 （残事業）2.4	総費用： （残事業）/（事業全体） 20/23億円 事業費：18/22億円 維持管理費：1.5/1.5億円	総便益： （残事業）/（事業全体） 48/48億円 走行時間短縮便益：38/38億円 走行経費減少便益：8.0/8.0億円 交通事故減少便益：1.7/1.7億円	基準年： 平成29年
感度分析の結果	（事業全体） 交通量：B/C=1.8~2.2（交通量±10%）（残事業） 交通量：B/C=2.2~2.6（交通量±10%） 事業費：B/C=1.9~2.3（事業費±10%） 事業費：B/C=2.2~2.6（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.0~2.2（事業期間±20%） 事業期間：B/C=2.3~2.6（事業期間±20%）			
事業の効果等	・地域高規格道路「上信自動車道」へのアクセス道路であり、吾妻地域（中之条町、高山村）の産業競争力の向上に寄与する。 ・地域高規格道路「上信自動車道」へのアクセス向上により、三次医療施設への搬送時間が短縮される。 ・四万温泉等の観光地へのアクセス性向上が見込まれる。			
関係する地方公共団体等の意見	・当路線が接続する地域高規格道路「上信自動車道」は、渋川市ほか2市4町2村の首長や議会議長等で構成される「上信自動車道建設促進期成同盟会」より、整備促進の要望を受けている。			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	・上信自動車道吾妻東バイパス2期（（仮）箱島IC～（仮）植栗IC）が平成26年に事業化。			
事業の進捗状況、残事業の内容等	・平成29年度より用地買収に着手、事業進捗率16%、平成36年度供用開始予定			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・本事業は上信自動車道へのアクセス道路であるが、上信自動車道本線が平成36年度まで事業期間を延伸している。 ・計画の具体化にあたって、地元住民や関係機関との合意形成に期間を要した。 ・今後も地元や関係機関との協力体制のもと、早期供用に向けて事業を推進する。			
施設の構造や工法の変更等	・近接する地域高規格道路「上信自動車道」との土工量収支に配慮し、処分費低減・残土の有効活用等、コスト縮減を図る予定。			
対応方針	事業継続			
対応方針決定の理由	・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。			

# 事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。